

編集後記

どうやらこの編集後記には決まったテーマがなく、編者の裁量に委ねられているらしい。そこで、最近読んだお勧めの本を紹介することにした。編集後記というより、読書感想文になってしまった気もするが…。

最近、『GE 帝国盛衰史—「最強企業」だった組織はどこで間違えたのか』という一冊に出会った。本書は、かつて世界最強企業と謳われたゼネラル・エレクトリック (GE) の成長と衰退を詳細に描いたノンフィクションである。GE はトーマス・エジソンの発明を起源とし、20世紀を通じてアメリカ経済の象徴的存在となった。ジャック・ウェルチが率いる下で、航空機エンジンや発電、医療機器、金融サービスに至るまで多岐にわたる事業を展開し、最盛期には時価総額6000億ドルに達した。しかし、2000年代に入り、その輝きは失われ、最終的には事業の分割・売却を余儀なくされる。

本書では、この衰退の原因を社会の変化に対応できなかった経営者の経営戦略の失敗という視点から分析している一方で、企業文化や組織風土の歪みなど、労働者全体の問題としても分析している点が非常に興味深い。

本書を読み終えた後、自分自身や研究者という仕事について改めて考えさせられた。GEの歴史において、成功体験が時に組織の硬直化を招き、変化に適応できなくなることを痛感した。過去の成功に囚われることなく、常に外部環境の変化に目を向け、柔軟な発想と挑戦的な姿勢を持ち続けることは、研究者にとっても非常に重要なことである。

また研究者という職業は学問の自由のもと、大きな裁量を与えられている。公的資金で研究を進める一方で、成果は個人の名前で発表するという他の職業にない特徴もある。

その裁量の特権と捉え、奢ることなく、日々の業務の中で、成長を支える個人や組織風土を築けているか、自らに問い続ける必要があると感じた。

この紙面では、本書の魅力を語り尽くすことはできないが、企業人だけでなく、研究者にとって示唆に富む一冊である。

やはり、勝ちに不思議の勝ちあり。負けに不思議の負けなし。ということのようである。(小島完興)

プラズマ・核融合学会 役員

会 長	安藤 晃		
副 会 長	坂本瑞樹(推薦委員長:研究助成)	花田磨砂也(男女共同参画委員長)	
常務理事	市口勝治(総務委員長)		
理 事	渥美寿雄	居田克巳	稲垣 滋
	大原 渡	兄玉了祐(広報委員長)	古閑一憲(支部・地区研究連絡会委員長)
	坂本克也	白藤 立	仙波智行(財務委員長)
	田中康規(企画委員長)		鳥養祐二(研究部会連絡委員長)
	藤田隆明(年会運営委員長, 企業展示検討委員長)		井 通暁(推薦委員長:学会賞)
監 事	前田達志	立松芳典	高橋幸司
			村上 泉(編集委員長)
			林 伸彦

プラズマ・核融合学会 領域長

基 礎 大原 渡(山口大) 応 用 白藤 立(大阪公立大) 核融合プラズマ 林 伸彦(量研) 核融合炉工学 渥美寿雄(近畿大)

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ: 村上 泉(核融合研) 副委員長: 鳥養祐二(茨城大)
エディタ: 前原常弘(愛媛大), 稲垣 滋(京大), 重森啓介(阪大), 高橋裕己(核融合研), 石澤明宏(京大), 大矢恭久(静岡大)
編集委員: 伊神弘恵(核融合研), 池田善久(愛媛大), 伊藤 悟(東北大), 宇藤裕康(量研), 岡本征晃(石川高専), 小田靖久(摂南大), 恩地拓己(九大), 河内裕一(名大), 川面洋平(宇都宮大), 小島完興(量研), 小林達哉(核融合研), 佐野孝好(阪大), 篠原正典(福岡大), 白戸高志(名大), 曾根宏隆(豊田自動織機), 高橋一匡(長岡技科大), 富田健太郎(北大), 中野治久(核融合研), 中村友祐(名大), 成田絵美(京大), 難波愼一(広島大), 針谷 達(岐阜大), 皇甫度均(筑波大), 古川武留(神戸大), 松岡清吉(量研), 本島 巖(核融合研), 山崎広太郎(広島大)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第101巻第3号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2025年(令和7年)3月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: https://www.jspf.or.jp/ 定価1,430円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。